

エフゲニー・アルクヒポフ

国際カヌー連盟(ICF)会長候補者

プログラム案

管理とマネジメント

組織が効果的に機能し繁栄するためには、巧みな管理と正しいマネジメントが不可欠であります。

ICF の活動は、ICF のメンバーであるすべての国内連盟の見解に基づく必要があります。これは、効果的なワーキンググループと委員会の設立を通じて達成することができます。国内連盟に情報を提供するためのメカニズムを改定し、オンラインリソースの使用を含め、議論と共同開発の機会を創出する必要があります。ICF は会長と委員会だけではありません。これは、私たちのスポーツのさらなる発展に関するすべての国内連盟の意見の集まりです。

連盟のすべての活動は、スポーツにおける反腐敗国際パートナーシップ（IPACS）の規定に基づいて、この活動は可能な限り透明でなければなりません。ICF 文書のすべての規定は、すべての国内連盟にとって可能な限り透明で理解しやすいものでなければならず、これらの規定は話し合い、合意する必要があります。その他、すべての曖昧なことを排除する必要があります。この点に関して、各国連盟との話し合いに基づいて、また法律と金融の分野の専門家の関与に基づいて、高レベルで ICF 規制文書を改訂することが提案されています。

現在、我々のスポーツの主な資金源は国際オリンピック委員会（IOC）であります。私はオリンピックサイクルのためにスポンサーから保証された 1000 万ユーロの追加資金を引き付けるための具体的な提案をしています。これらの資金は、対象を絞った開発プログラムをサポートし、すべての大陸にスポーツとトレーニングセンターを作成し、才能のあるアスリートをサポートするプログラムを強化し、ICF オリンピック委員会以外会への資金を増やすために使用されます。加えて、私は ICF 会長へのゼロ支出を提案します。

カヤックとカヌーのスポーツ開発プログラム

1. 開発プログラム

我々のスポーツ種類と長期的な発展のためには、効果的な開発プログラムが必要です。プログラムの主な規定は：

- 各大陸で ICF のオリンピックトレーニングセンターを設立し、あらゆる種類のカヌースポーツ種類を組み合わせます。これらのセンターは、プロ選手だけでなく、すべてのスポーツ選手オリンピックスポーツだけではなく、アマチュア選手がアクセスできる必要があります。これらはトレーニングのためだけでなく、カヌースポーツのための教育センターでもあります。これらのセンターには、重要なスポーツインフラストラクチャーがない国の選手とコーチが集まって、ドーピング防止プログラムを含むさまざまな教育プログラムを訓練します。センターは、ICF、国内および大陸連盟、NOC（国内オリンピック委員会）および IOC（国際オリンピック委員会）の間の相互の 5 方向のパートナーシップで運営されています。センターの場所は、ICF エグゼクティブ委員会と合意されています。
- 現在の開発プログラムへの資金の増加は少なくとも 3 倍です。具体的な提案は、「追加資金の調達」セクションに記載されています。
- 世界中の才能ある選手を全面的なトレーニングサポートを確保する集中コンセプトの作成。
- カヌースポーツスクールの開発だけでなく、宿泊施設、食料、在庫、設備、コーチングサポートなどの完全な設備を備えた外国選手を招待するための独自の設備を大陸協会に提供します。普遍性の原則に基づいてスポーツ競技会地理の拡大。カヤックやカヌーのスポーツは、ヨーロッパのスポーツだけにとどまるべきではありません。
- オリンピック以外のカヌースポーツの開発に特に注意を払う必要があります。これは、一方ではアクティブなレジャーの一種であり、他方では、世界中からの多くの漕ぎ手を団結させる要素であります。
- できるだけ多くのオリンピック以外スポーツ種類が世界や他のマルチゲームのプログラムに含まれるように努力する必要があります。
- カヌーフェスティバルの実施、有するコースでスプリントとスラロームスポーツ競技会の開催。オリンピック以外のカヌースポーツの最大数での同時イベントを含みます：ダウンヒル、マラソン、カヌーポロ、フリースタイル、オーシャンローイング、ドラゴンカヌー、スタンドアップパドルボード。このようなフェスティバルは、オープンウォーターを利用して海岸近くで開催できます。その他、ホワイトウォーターのスポーツ競技大会は、携帯用の人工コースを使用して実施できます。
- ICF の 100 周年を祝うために 2024 年に最初のフェスティバルを開催します。フェスティバルには、できるだけ多くのカヌースポーツが含まれるように計画されています。有するインフラストラクチャーの機能を考慮して、可能な会場の 1 つはポルトガルです（スラロームとフリースタイルがスラロームコースで行う）。
- 16 歳未満の子供のため国際競技会プログラムの開発と実施。これは、各国の連盟が早くカヌースポーツ開始を奨励するためです。

- すべての国内連盟は装備が利用できるようにするため装備生産者との協力プログラムを実施する。開発プログラムの枠内で装備が各国の連盟に分配される場合に、ICFは**ボートの輸送費用**を負担します。
- シミュレーターと対応する競技会に基づく**バーチャル・リアリティ (VR)**の要素を含むスポーツ競技会プロジェクトの支援。

II. 教育プログラム

- レースマネージャー、ジャッジ、ディスタンスマネージャー、トレーナーなどの必要な専門分野向けの**教育プログラム**と**トレーニングシステム**の開発と導入。**ICF 認証システム**。**ICF スポーツスクール**。**スクール卒業証書**。現在、共通の労働市場がないので、**専門家ネットワークの構築**。**ICF 求人データベース**。
- 大陸センターに基づく、国内オリンピック委員会とのパートナーシップを含む追加の教育プログラム。専門家のトレーニングのために、**財政**、**マーケティング**と**スポンサーシップ**、**スポーツイベントの開催**、**メディア**、**スポーツ施設管理**などの専門分野の教育。
- **ICF チャンネル**：いくつかの言語での 24 時間年中無休のオンラインチャンネル（競技会の放送、教育プログラム、選手とコーチの話、インタビューなど）。**各コミュニティメンバー**は、**パートナー**や**スポンサー**を含め、チャンネルのコンテンツに参加できます。これは、**カヌーコミュニティ**を団結させ、**スポーツ**をさらに普及させ、**スポンサー**を引き付けるのに役立ちます。

III. 選手の一元的なサポート

- **ICF** は、の組織委員会と協力して、スポーツ競技会でパフォーマンスの分析、医療処置、ロジスティクス、ビデオ撮影など、そのような専門家がない国のすべての参加者に高レベルのサービスを与えます。トレーニング計画を作成するためのオンラインプラットフォームも提供されています。
- 前回の世界チャンピオンシップのランキングで 40 位以下の国に**無料**ア krediyteshon を提供します。無料送迎、宿泊施設、コーチ、一般マッサージ師、結果アナリスト、カヌー速度分析などです。
- 各国の結果の一般的な統計と効果の詳細な分析。**ICF 加盟国**の進展動向の統計と分析のためのオンラインサービスの開発。

五輪プログラムとアプローチ

五輪プログラムで 16 個のオリンピックカヌーメダルを維持するためにあらゆる努力を払う必要があります。さらに、男女平等の原則に従って五輪プログラムに規律を追加するためには、その領土で五輪を開催する国内オリンピック委員会との直接的な協力が必要です。ICF は、普遍的な連盟になるために、スポーツ種類の多様性を提供しなければなりません。オリンピックアジェンダ 2020+5 の建築に従って、カヌーコミュニティの新しい可能性を検討することが提案されています。

I. オリンピックのプログラムの開発

我々は連盟の基、現在の存在オリンピックおよびオリンピック以外のカヌースポーツに十分な注意を払う必要があります。でも、テンプレートテンプレートは避ける必要もあります。委員会がカヌースポーツの人気を分析できるようにしなければなりません。誰もが楽しめるようにプログラムを変更する。**前進しなければなりません！**（英語では「前進する」が「Moving forward」を表現します。これが ICF のスローガンです）。

- オリンピックムーブメントの中心であるローザンヌに ICF の本部とすべての高級なスタッフを付くことが提案されています。
- NOC の参加者の数を増やすためにオリンピックゲームへの選考システムの改定。

II. 男女同権

- オリンピックと世界選手権で 50% の割合で女性と男性のメダルを ICF 法令で承認する。
- オリンピックプログラムに混合チームが参加できる問題を検討する提案。

III. プログラムの柔軟性を高めるための競技会フォーマットの改定

- ICF と協力して競技会ルールの形成においてホスト、国内連盟、組織委員会が参加する。これは人気を高め、コストを下げるために必要です。また、世界的に有名な観光地の近くの市内中心部で新しいフォーマットを設定することもできます。
- 各世代の漕ぎ手を引き付けるための新しい競技会フォーマットの開発。
- IOC プログラム「Road to the Olympic Games」との提携による、新しいカヌースポーツ種類の競技会コンセプトの議論と開発。
- カヤックとカヌースポーツの通俗化と宣伝、メディアとの直接的な交流、オリンピックだけでなくオリンピック以外スポーツの世界選手権を放送する。興味深くて、面白くて、理解しやすい競技会プログラムによってメディアの注目を集める。

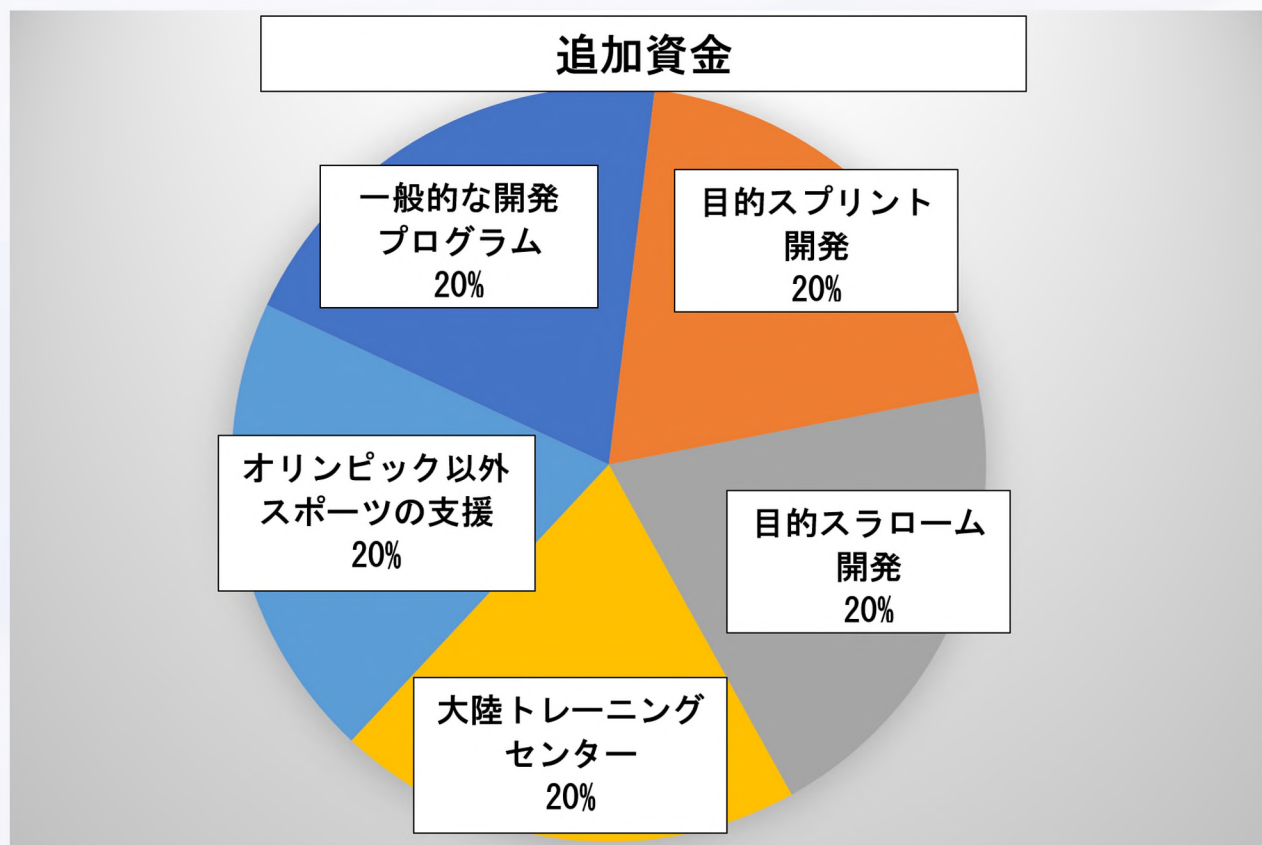
IV. 地球と選手のため持続可能な開発原則

- 環境がやさしいと持続可能な開発の原則を尊重するスポーツとしてカヌースポーツのイメージを向上させるために、競技会場の要件を確立することが提案されています（水質基準、電源など）。
- WADA へのイニシアチブ：ドーピングとの戦いを強化するための追加のコントロールとして、各国連盟が選手のテストを開始できるようにする。ドーピングに対する不寛容は、各レベルでの組織の仕事で表現されなければな

りません。選手とコーチのための各大陸で世界クラス専門家の参加による教育プログラムの量の増加。ドーピングに対する嫌悪感の創出。

追加資金の調達

IOC の標準予算に依存するだけでは上記の目的を達成するのに十分ではありません。カヌースポーツが本当に人気になり、ICF は補助金組織から収益性の高い組織になるために、多くの重要で経済的に費用のかかる問題を解決する必要があります。調達した資金は、以下の分野の開発に投資することが提案されています。 資金の配分は予備的なものであり、今後の議論の対象であります。



大陸トレーニングセンター

南アメリカ、中央アメリカ、アフリカ、アジアのセンターを可能な限り最速で開始するため、適切なレベルの必要なインフラストラクチャの作成、保守、および構成のための予算。これは関心のある各国連盟と専門家の協力し、ICF の管理リソースによって実施する。

カヌースポーツ一般的な開発プログラム

- 前回の世界チャンピオンシップランキングで 40 位以下の国に無料アクレディテーションを提供します。無料送迎、宿泊施設、コーチ、一般マッサージ師、結果アナリスト、カヌー速度分析などです。
- 世界選手権で小勢チームから選手の無料支援（ランキングでの位置にかかわらず、結果アナリスト、ビデオ、距離の通過、基本的な医療処置）。
- 競技会の組織に関するコーチ、ジャッジ、およびスタッフのためにセミナーと教育コースの実施（大陸トレーニングセンターに基づくを含む）。

- 補完的なアンチドーピングプログラム。例外なく各国でドーピングに対する嫌悪感の創出。
- トレーニングプランを提供するためのオンラインサービスの開発。
- トレーニングおよびレジャースポーツ施設の標準的な規範とプロジェクトの開発と提案。

目的スプリントとパラカヌー開発:

- スプリントにおいて才能がある選手のためサポートプログラム。
- スプリント技術委員会のため追加予算。
- パラカヌーのため追加の一般的なサポート。

スラローム開発:

- 才能がある選手のためサポートプログラム。シーズンの主要な競技会場での一斉トレーニング。 ICF オフィスからではなくて、選手との直接にトレーニングを行う資格があるコーチ。
- パートナーやスポンサーと一緒に携帯用的人工ホワイトウォーターコースの開発（パリのゲーム向け）。

オリンピック以外スポーツの一般的な開発:

- オリンピック以外スポーツ種類のフェスティバルの準備と開催。